

～保育士が働きやすい職場づくりに向けた取り組み 好実践事例～

★CASE 4★

三成幼児園(奥出雲町)

【保育園DATA】

- 所在地: 仁多郡奥出雲町三成690-1
- 法人名: 社会福祉法人仁多福祉会
- 定員: 100名
※平成28年8月8日時点で
在籍数104名

○職員構成

- ・正規職員11名(事務職員含)
- ・嘱託職員4名(栄養士含)
- ・臨時職員9名(調理、保育助手含)
- ・パート職員5名(保育助手含)

○法人内他施設

- ・三沢幼児園・阿井幼児園・布施幼児園
- ・亀嵩幼児園・横田幼児園・鳥上幼児園
- ・馬木幼児園・八川幼児園



職員一人ひとりが自己の力を発揮しながら、仕事の面においても私的な面においてもお互いが学び合える雰囲気のある職場作り。
人として成長できる職場であり、そのことが保育に生かされること。

☆山田まゆ美先生の略歴☆

- ・地元に戻って平成6年に三成保育所勤務、所長になって8年目
- ・平成21年度から平成26年度 三成児童館館長兼務
- ・平成27年度より三沢幼児園園長兼務 放課後児童クラブスマイル代表兼務

保育士がいきいきと働く環境を整備するために

○職員がお互いに影響し合える環境をつくる

クラスの担任を考える時や当番・役割分担の組分けをする時などは、各自の持ち味を生かし、お互いに影響し合え、吸収し合えるように工夫しています。
それぞれの個性や持ち味を活かし、引き継いでいく力や引き継がれていく力を持ってもらいたいと思っています。また、クラスの子どもたちの個性にマッチできる職員配置を考えています。

○自分のやりがい・目標を持って欲しい

職員の年齢は20代から60代と幅広いです。

例えば20代の職員は30代の職員(産休・育休を含んだ働き方、子育てが生活の中心になる事)、40代以降の職員(子育てが一段落して仕事に打ち込める環境が整う事)などを身近で見ることができます。先輩の働き方を見ることで、今は大変だけどそれを乗り越えられる、という将来像をイメージして安心して働いて欲しいです。

大変な事はたくさんあり、気の合う職員ばかりではないけど、だけど頑張れる、助けてくれる職員がいる事に気づいて欲しいです。働き方は個々のスタイルがあってもよく、自分のこれからの働き方、生活の中での仕事の位置づけなど、長いスパンでの働き方を考えて、仕事と家庭のバランスをそれぞれに保ちながら、元気に働いて欲しいと考えています。

山田園長からは、職員一人ひとりの個性を大切に、それぞれの成長を見守っていききたいという
気持ちがとてもよく伝わってきました。



三成幼稚園での取り組み紹介①「1年目の保育士とペアの保育士の交換ノート」

ノートには新任の保育士が日々感じる疑問点「どうして先生はこういう対応をされたのですか？」など保育中にじっくり聞く事ができないこと、日々の職場についての困りごと、聞いてみたいこと、気づいた点など何でも書いています。ノートは夕方同じクラスの先輩の先生に渡し、次の日には返事を書いて返してもらいます。

新任の保育士にとっては一日の振り返りをする良い機会になります。また、自分の中のいろいろな想いをため込むことなく出すことができます。先輩保育士にとっては「この行動にはこういう意味がある」など保育中での言動の意図をきちんと伝える事ができます。伝えておきたい事・それに付随した広がりのあるコメントなどを記入する事ができます。

また一年が終わるころにはこのノートが新任保育士にとっての自信に繋がり、次年度からの仕事への意欲になっていきます。

三成幼稚園での取り組み紹介②「出産した職員への配慮」

産休・育休の制度はありますが、育休を1年間取得せずに出勤する保育士もいます。その保育士に対しては、育児時間休を設けて、授乳時間の確保をしています。

子どもを預けている保育所から呼び出しがあった時には、先輩保育士の後押しもあり快く迎えに行く事ができ、職員が抜けた後をフォローする体制もできていますので、子育てを中心として仕事をする事ができます。

子育て中の職員にも研修に参加して学び続けてほしいと考えています。また、新しい情報を入れて前向きな保育をして欲しいです。定期的に外部から講師を呼んで園内で勉強会を行っています。また、外部の研修への積極的な参加を促しています。小さな子どもがいる職員には日帰りの研修に行けるように配慮し、宿泊を伴う研修には年齢の高い子どもがいる職員や独身の職員に参加してもらっています。

☆職員の声☆



藤原 美紀子先生

- ・保育士歴は14年目
- ・子育て支援を担当
- ・1歳の子どもがいます

今年から子育て支援センターの担当になりました。新しく出会える赤ちゃんや保護者さんと接するのは楽しいです。自分自身も1歳の子どもがいるので、育児の話しながら一緒に子育てをする気持ちで仕事をしています。

学生の時に保育実習をした園で、そこから考えると、もう教える立場になったのかと感慨深いです。若い先生の心の思いを引き出せるような接し方をしていき、先輩から教えてもらったことを伝えていきたいと思っています。



古井 明香(はるか)先生

- ・保育士歴は7年目
- ・0歳児を担当

鳥取県出身なので鳥取で3年間保育士をしました。結婚を機に奥出雲町へ来ました。三成幼稚園は4年目です。同じように町外から嫁いできた保育士が多いので、外から来ている感じはなく、とても馴染んでいます。

中堅の立場になりつつあり、若い先生・年上の先生のどちらからの話も聞いて、相談にのっている自分に驚く事もあります。人の話を聞くのが好きだし、話しやすい雰囲気なのかなと思います。

♪ 保育っていいな ♪ ～日々の1コマより～



楽しい外での時間



大きさをそろえてみよう

